

安心・安全・健康的な食の提供と 「農」を通しての地域貢献の創造

鹿児島大学との産学共同で誕生した薩摩鴨・薩摩黒鴨、この鴨と地域の農産物を使った高付加価値加工食品をつくり、高齢者を中心に安心・安全・健康的な商品提供をすることで健康づくりを推進し、社会貢献を実現する。



黒鴨を使用した商品

事業のきっかけや目的

薩摩鴨・薩摩黒鴨の特性を活かした「成人病予防を考えた安心・安全・健康的なおいしい食品の提供」。鴨肉の脂・卵黄には、成人病予防のためのコレステロールを体の中から排除し、肝機能、生殖機能、脳の老化防止に役立つオメガ3（DHA、EPA、αリノレン酸）が豊富に含まれている。日々、鴨肉を摂取することで成人病予防、老化防止に役立てることを目的とする。

事業の取り組み内容と成果

真空低温調理、レトルト加工等を用いた新商品を開発、製造することが可能になった。また大型機械によって製造コスト削減、衛生的で安心安全な商品づくりができた。本事業による設備を活用し試作、商品化することで介護施設、医療施設に販売できる。顧客ニーズに応える加工食品が提供できるため、鴨の加工食品のブランド化もスムーズとなった。

事業化に向けての今後の取り組み

今後、本事業による設備を利用し、薩摩黒鴨の機能性を活かした新商品を開発し、「医福食農」連携による高付加価値商品として販売していく。



スモークも安定した品質



麹発酵機でにんにく麹を製造



心のサプリ「麹の和み力」

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

「つくるものを最後まで」

当社の大きな特徴は、有機農業で育てた農畜産物の加工・販売まで請け負う「つくるものを最後まで」という精神です。地域産業に根ざした循環型社会を描き、鹿児島だけでなく、日本・世界の地域で暮らす人々の健康や環境を守り続けたいと考えております。今後とも、当社が創る「ロハス的なものづくり」にどうかご期待ください。

企業 DATA

昭和52年、有機肥料の製造販売会社として創業以来、「薩摩の農文化を世界へ、土と人と環境にやさしいものづくり」の企業理念の実現の為、産学官連携による商品開発をしてきました。今後も安心安全なものづくりを行ってまいります。



代表取締役社長 野口 愛子

事業者	日本有機株式会社
代表者	代表取締役社長 野口 愛子
設立年月日	昭和52年3月1日
所在地等	〒899-8604 曾於市末吉町諏訪方4122 TEL 0986-76-1091 FAX 0986-76-6554 E-mail joc@e-kamo.co.jp URL http://www.nihonyuki.jp/
資本金額	1,000万円
従業員	15名
業種	食料品製造業